

[参考事項]

新技術名：ブドウ「シャインマスカット」の果房重や成熟の早さは樹齢や着果位置によって異なる
(平成20～25年)

研究機関名 果樹試験場 特産果樹部
担当者 船山瑞樹

[要約]

ブドウ「シャインマスカット」の一文字短梢剪定樹では、果房重は樹齢が進むにつれて重くなり、果房の成熟は主枝の枝齢が若い部位から古い部位へと進む。

[参考対象範囲]

普及指導員及び営農指導員

[ねらい]

「シャインマスカット」の一文字短梢剪定樹において、樹齢や着果位置による果実品質の違いを明らかにし、その特性に基づいた適切な栽培管理方法を確立することで、商品性の高い果実生産を可能にする。

[技術の内容・特徴]

1. 樹齢7年生までは、樹全体の平均果房重は、樹齢が進むにつれて増加する(図1、表1)。
2. 主枝枝齢が最も古い樹齢7年生樹における6年枝部位の果房重の経年変化をみると、樹齢が4年生時には182g(3年枝部位)と軽く、その後、5年生時には492g(4年枝部位)、6年生時には542g(5年枝部位)、7年生時には605g(6年枝部位)と増加することから、主枝枝齢が6年生までは、主枝枝齢が進むにつれて果房重も増加する(図1、表1)。
3. 同一樹齢(樹体)では、主枝枝齢が若い部位の果房ほど果皮色指数が高く、酒石酸含量が少ないことから、成熟は主枝枝齢が若い部位の果房が早い(図1、表1)。
4. 樹齢6年生以降の成木における主枝枝齢毎の1粒重は、4年枝部位の果房の1粒重が重い(表1)。

[成果の活用上の留意点]

1. 成木では、主枝先端部の果房と基部の果房では、収穫期が異なることに留意する。
2. 主枝先端部の最も若い枝齢の果房は他の枝齢の果房より小さい傾向があるので、花穂整形や摘房、摘粒は、主枝先端部の花(果)房から始める。
3. 樹齢7年生までは、樹齢が進むと果房が大きくなるので、着果過多や糖度低下に留意する。

[具体的なデータ等]

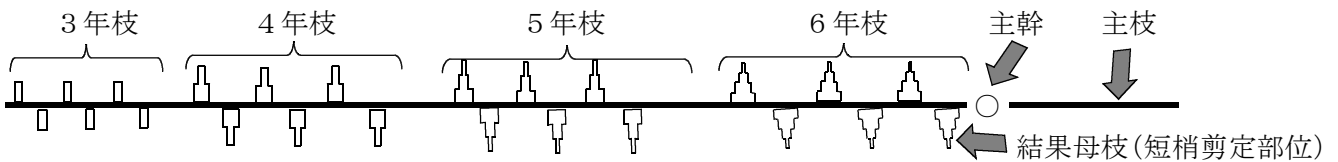


図1 一文字短梢剪定樹（総主枝長25m）の主枝枝齢と結果母枝の構成（7年生樹、2013年）

注) シャインマスカット/テレキ5 BB 1年生苗木を2008年4月に定植
 2年生（2008年）～4年生（2010年）までは無施肥、5年生時（2011年）は4kgN/10a、
 6年生以降は6kgN/10a相当の化学肥料を9月下旬に施用
 試験圃場は表層腐食質多湿黒ボク土

表1 樹齢及び主枝枝齢と果実品質の推移

樹 齢	主枝枝齢	調査果房数 (個)	果房重 (g)	果皮色 ^y (c. c.)	着粒数 (個)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酒石酸 (%)
4年生	2年枝 ^z	10	149 ^{ns}	3.8 ^{ns}	19.1 ^{ns}	7.2 ^{ns}	19.3	0.248
	3年枝	10	182	3.6	17.8	8.3	18.1	0.309
	樹全体の平均		166	3.7	18.5	7.8	18.7	0.279
5年生	2年枝	10	441 ^{ns}	3.3 ^b	45.2 ^a	9.4 ^{ns}	17.1 ^a	0.194 ^a
	3年枝	10	468	3.2 ^{a,b}	45.5 ^a	9.8	17.1 ^a	0.253 ^b
	4年枝	10	492	3.0 ^a	55.0 ^b	8.7	18.3 ^b	0.296 ^c
	樹全体の平均		467	3.2	48.6	9.3	17.5	0.248
6年生	2年枝	10	474 ^a	5.4 ^c	48.9 ^{ns}	9.3 ^a	23.3 ^b	0.206 ^a
	3年枝	10	496 ^{a,b}	4.3 ^b	46.1	10.4 ^{a,b}	21.6 ^a	0.246 ^a
	4年枝	10	570 ^b	3.6 ^a	50.1	11.1 ^b	20.7 ^a	0.308 ^b
	5年枝	10	542 ^{a,b}	3.5 ^a	48.5	10.8 ^b	20.8 ^a	0.307 ^b
	樹全体の平均		521	4.2	48.4	10.4	21.6	0.267
7年生	3年枝	12	681 ^b	4.2 ^c	53.6 ^b	12.5 ^a	19.4 ^b	0.254 ^a
	4年枝	12	738 ^b	4.0 ^{b,c}	50.3 ^{a,b}	14.3 ^b	18.2 ^a	0.269 ^{a,b}
	5年枝	12	701 ^b	3.7 ^b	50.2 ^{a,b}	13.4 ^{a,b}	17.9 ^a	0.317 ^b
	6年枝	12	605 ^a	3.2 ^a	47.6 ^a	12.8 ^a	17.4 ^a	0.380 ^c
	樹全体の平均		681	3.8	50.4	13.3	18.3	0.305

^z 主枝延長上の結果母枝（長梢剪定部位）

^y 4～5年生時は農林水産省黄緑色系ブドウ品種用カラーチャート（指数1～6）を、
 6年生以降は秋田県版シャインマスカット専用カラーチャート（指数1～6）を使用
 4年生の表中の符号はt検定（P<0.05）でnsは有意差なし、符号なしは検定していない

5年生以降の表中の異なる符号間はTukeyの多重検定法（P<0.05）で有意差あり

調査果房数は2樹の合計

調査果房は各樹齢毎に全て同一日に収穫

簡易被覆トンネル栽培

無核栽培とし、2回のジベレリン処理時にホルクロルフエニユロン5ppmを加用

着果量は0.6～0.7果/1新梢に調整

5年生以降は着粒数は50粒をめどに調整し、被袋後も小粒果や未熟果粒、縮果症果粒等を随時摘粒

[発表論文等]